

家畜衛生だより

令和7年5月発行 No.11
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

暑熱対策について(鶏編)

気象庁の直近3か予報(5~7月)では、今年も平均気温は高い見込みとなっています。

鶏は気温が27℃を超えると“暑熱ストレス”により産卵率や増体量が低下し、さらに熱射病によるへい死のリスクも上昇します。

暑熱対策は、畜舎環境と飼養管理の両面からの対策が効果的です。夏場対策の重要性を今一度考え、夏がくる前から早めに実行しましょう！

出荷前の肉用鶏は特に注意しましょう！



出荷前の肉用鶏は暑熱ストレスの影響が大きいいため、舎内の温度や換気、冷水の給与等、管理に細心の注意を払い、事故を防ぎましょう！

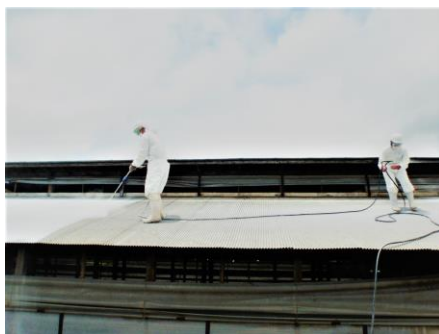
《畜舎環境面の対策》

○遮光、遮熱

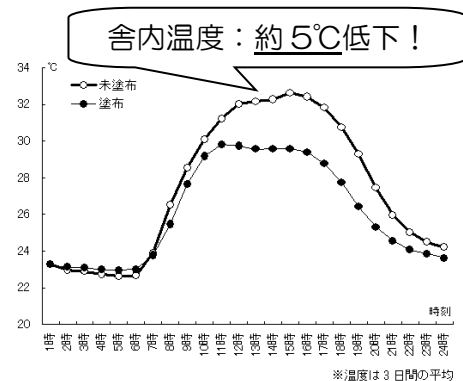
- ・直射日光をさえぎる(グリーンカーテン、遮光ネット、ひさし等)
- ・屋根・飼料タンク等へ遮熱塗料やドロマイト石灰を塗布し、温度上昇を防ぐ



グリーンカーテンによる遮光



屋根へのドロマイト石灰塗布



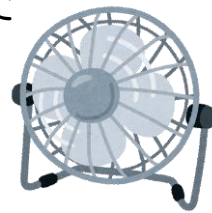
ドロマイト石灰塗布による屋根裏温度の推移
県農業総合研究センター養豚研究所 研究報告より

☆衛生指導協会では、ドロマイト石灰塗布用の動力噴霧機を貸し出しています。

裏面へ⇒

○換気、送風

- ・換気扇・送風ダクトで鶏舎内を強制的に換気することで体感温度と湿度を下げる



○冷却

- ・屋根や鶏舎周囲への散水
- ・細霧発生装置を利用し、気化熱と送風で体感温度を下げる
(鶏舎内の湿度が高くなり過ぎないように、風通しを良くする)

《飼養管理面の対策》

- ・冷水投与
- ・昼間の絶食・夜間給餌 ⇒ 涼しい時間帯に飼料給与を行う
- ・適正な飼養密度



※ピッカーだけの給水ではなく、例えば水トイも設置し、水を流すなどして、いつでも冷たい水を十分に飲めるようにしましょう。

緊急時の対策（35℃を超えたら）

鶏には汗腺が無いいため、暑熱時の過呼吸で血液がアルカリ性に傾いてしまいます。

⇒ 飼料・飲水に重曹を0.5～0.7%の割合で混ぜてください。

暑熱ストレスの影響は秋以降の生産性低下にもつながります。
早めに対策を実施し、生産性の低下を最小限に抑えましょう！

**暑熱対策のご相談やドロマイト石灰塗布用動力噴霧機
についてのお問い合わせは、庄内家畜保健衛生所まで**

電話番号 0235-68-2151